



高鍋高校通信

第5号

「輝け高鍋高校！」～地域自慢の学校作りプロジェクト～



宮崎県高校総合文化祭がありました

サイエンス部

サイエンス部は、物理班と生物班に分かれて活動しています。物理班はプログラミングを主として活動し、生物班は「アオミドロ」の研究をしています。生物班の竹井ゆいさん（2年生国光原中出身）

は11月3日に宮崎市で行われるプレゼンテーション大会に出場して全国大会を目指します。アオミドロは淡水産藻類という分類です。藻類は研究者が非常に少なく文献は、どれも絶版になっているために図書館から借りることもできずに苦労しました。本番は精一杯がんばって発表しようと思います。



「学校間交流」

生徒会

学校間交流と米沢興讓館高等学校との交流のことで年ごとに代表生徒と職員がお互いの学校間交流のはじまりは、高鍋藩の7代藩主が上杉鷹山公であり、高鍋町は山形県米沢56年4月より交流を深めています。コロナウイルスによりオンラインでの開催は、生徒会どうしの交流と代表クラスにて行いました。生徒会の交流では特産品の交換などを行刀彫といい、1本の小刀を使って彫り、工芸品のことです。今回の交流で寅をいろいました。校内には今まで米沢興讓館産品を飾っています。

上杉鷹山公のことは

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も
成らぬは人の 為さぬなりけり」

意味：やればできる



は、高鍋高校と山形県立す。平成12年度から1を訪問しています。学校秋月種茂公の8歳下の弟沢市を姉妹都市として昭昨年度と今年度は新型コロナとなりました。今年度よりクラス間交流をリモ

いました。写真の置物はその荒いタッチを生かしたただき、十二支すべてがそ高等学校からいただいた特

「頑張れ！3年生！！」

高鍋高校の3年生は就職試験や進学試験など、目標に向かって日々頑張っています。朝早くから夜遅くまで、職員室前の通称「のびる机」では多くの3年生が勉強に励んでいます。生徒会では3年生を応援するために手作りの「高鍋神社」に1、2年生と先生のメッセージを絵馬に書いて掲げてあります。学校全体で3年生を応援しています。頑張れ！3年生！！



税に関する作文コンクール入賞！



本校の普通科CIコースの3年生の金次一樹さんと問宮愛乃さんが税に関する作文コンクールで入賞しました。写真は本校校長室での表彰式の様子です。金次一樹さんのコメント

「税に関する作文を書いて、私は日本にある税の種類や税の使い方について調べるまで全く知りませんでした。税のことを知ることで、今までなんとなく消費税などを払っていたけど使い方を知ること、どこかで人の役に立っていると思ううれしく思います。社会人になると納税の義務があるので、困っている人を助けるためにもしっかりと税金を払っていこうと思いました。」

探究科学科

オープンスクール夏の陣&秋の陣



7月30日(金)にオープンスクール夏の陣、10月23日(土)に秋の陣を開催しました。探究科学科のオープンスクールは全学年の生徒で成功させる一大イベントです。受付・司会進行・アイスブレイキング・課題研究発表などすべて生徒達で行います。はじめは緊張している様子の中学生達もたくさんの先輩に囲まれて話をするうちにだんだんほぐれて最後には笑顔も見られました。終始和やかなムードで進んだオープンスクール夏の陣でした。

秋の陣は「探究」を体験してみよう！と題して市販のアメを使っのアクティビティをしました。アメの溶けやすさは何で決まるか！？ひとつの疑問から次々と新しい問いが生まれてきました。それこそが探究の醍醐味です！探究ワールドを体験したい！と思った方は、ぜひ高鍋高校へ♪



京都大学学びコーディネータ出前講座

文系は「母語の異なる人と共存するには～小国スイスの教育政策」理系は「課題解決の視点からプラスチックの問題を考えよう！」という演題で出前講座を実施しました。今回は対面での開催です。やっぱり対面話を聞けるって素晴らしいですね。



探究科学科の素敵なフライヤーができました！様々なところに置かれています。3種類ありますので、見かけたらぜひ手にとってくださいね。



生活文化科

～職業系高校生と企業をつなぐ人材育成事業～

宮崎県産業教育審議会答申を受けた取組である「職業系高校生と企業をつなぐ人材育成事業」を8月3日～10日の間の6日間「株式会社 増田工務店」において実施しました。これは地元企業の実習と学校の学びを組み合わせ実践的な技術習得を内容とし、職業系高校生の即戦力人材としての育成と県内定着を図ることを目的としたものです。生活文化科2年生の稲井玲那さんが「社会人」として6日間の実習を行い、その体験を生活文化科集会で発表・報告し、体験内容を共有しました。(指導して下さった増田工務店2名の担当者も聴きにきてくださいました。)このような実習を受け入れ、丁寧に指導をして下さった増田工務店の皆様、また職業系高校ならではの素晴らしい体験事業を実施できた事に感謝しています。稲井さんの6日間の体験および報告内容は以下のとおりです。

<体験内容>

データベース作成、異業種企業訪問、新聞整理、お茶出し作法、銀行支払い記帳、領収証チェック、伝票作成、郵便受付、データ処理など

<体験して感じたこれから私達に必要なこと>

- ①誰かのために行動する
- ②授業をしっかり聞き、検定に積極的に取り組む
- ③指定されたことの上を行く行動をとる
- ④コミュニケーションをとる

